

竹のペン立て	
竹と杉板を使って、ペン立てを作ります。片付けも含めて、1時間半程度で実施可能な創作活動です。出前講座での実施も可能です。(材料代がかかります。)	
<b>【ねらい】</b>	1本の竹と杉板から自分だけのペン立てをつくる活動を通じて、切った竹の組み合わせを基にイメージをもち、のこぎりや接着剤、やすりを適切に扱い、工夫して表現することができる。

主に育成が期待できること (重点的なもの: 関係のあるもの: )

学習指導要領に示されている資質・能力	“「問い」を発する子ども”の具体的な姿
実際の社会や生活で生きて働く 知識及び技能	問題を発見する姿
未知の状況にも対応できる 思考力、判断力、表現力等	他者と関わろうとする姿
学んだことを人生や社会に生かそうとする 学びに向かう力、人間性等	主体的に問題を解決する姿

<b>【対象学年(年齢)】</b>	小学校高学年～中学生
<b>【人数・グループ】</b>	80人程度
<b>【持ち物・用意するもの】</b>	軍手

こんな学年・学級におすすめです！
・自由にイメージを膨らませる体験をさせたい、のこぎりや接着剤、やすりを使った創作活動に取り組みさせたいという学年・学級におすすめです！

【展開例】

事前学習・準備 (必要に応じて)	・特に必要なし
---------------------	---------

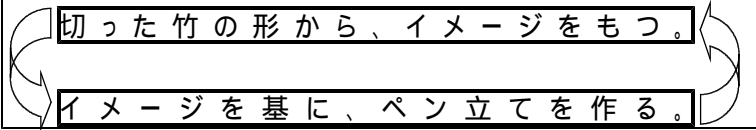


時間	活動内容	留意点
5	1 活動のめあてを確認する。 竹の形からイメージをふくらませて、ペン立てを作ろう。	・竹を使った創作活動に対する子どもたちの「ワクワク感」を大切にすると、創作意欲が高まります。
10	2 活動の見通しをもつ。 ・活動の手順や留意点、安全面の注意を聞く。 【活動の手順】 竹を半分に切る。 竹を使いたい形に切る。 やすりをかける。 木工用ボンドでくっつける。 日付と名前を書く。	・写真を用いたり、実演したりして活動の手順を示すことで、子どもたちは次にどんな行動をすればよいか自信をもつことができ、主体的な活動へと導くことができます。
	【留意点】 ・ペアで活動し、竹は2人で1本を分けて使う。 ・のこぎりは、手前に引くときに切ることができる。 ・竹は縦に割って使うことができる。 縦に割りたいときは、近くにいる自然の家職員に相談する。 (必要な道具) 鉋、木槌	
	【安全面の注意】 ・一工程ごとに道具を返却し、次の道具を受け取る。 ・のこぎりを振り回さない、人に向けない。 ・のこぎりを使うときは、必ず軍手を付ける。 ・竹を切るときは、のこぎり台に乗せる。 ・体はのこぎりとまっすぐにする。 ・靴のまま押さえ、手と足は反対にする。	・のこぎりを使うときに、どのような危険があるかを問いかけ、子どもたちに考えさせることで、道具の正しい使い方を身に付け、実践しようとする心が育ちます。 

6 0 3 創作活動をする。

- ・活動の手順に沿って、ペン立てを作る。

活動の中でこのような場面があります！



ペアで協力しよう！  
安全にも気を付けて！



どんなペン立て  
にしようかな？  
竹をどんな形に  
切ろうかな？

縦に割った竹はどういう風に置こうかな？  
色を塗って、工夫してみたよ！

1 0 4 作品を鑑賞する。

- ・友達の作品のよいところを見付け、相手に伝える。

〇〇さんのペン立ては、  
竹の置き方を工夫しているね！  
色も鮮やかできれいだね！



5 5 活動のまとめをする。

- ・振り返りを発表する。

【指導のポイント】

- ・切った竹を杉板にボンドでくっつける前に、竹の組み合わせや配置の仕方を見直したり、切り口に色を塗ったりと、試行錯誤させることで、子どもたちの“問い”を発する場面が生まれます。
- ・作品を仕上げる際に、機能性や見た目についてだけでなく、子どもの発想を生かしたり引き出したりする声掛けをすることで、想像力を育むことにつながります。

【安全管理】

- ・「安全面の注意」の内容の他に、作業時は隣のペアとの間隔を空け、安全な作業スペースを確保できるように、子どもたちの様子を見ながら声をかけます。

- ・友達の作品のよいところを見付けたら、付箋に書いて相手に手渡すようにすると、他者からの評価が形に残り、振り返りの際に役立ちます。
- ・指導者がポイントを示し、具体的にどんなところがよかったのか伝えるようにすると、表現力が高まります。

- ・活動で得た気づきを、指導者がフィードバックして価値付けることで、学びが深まります。

事後学習の例

- ・自然環境について考え、SDGsの学習に発展させる。

実生活（学校や家庭等）でこのように活用することも可能です！

- ・図工の工作の学習に活用することも可能です！